



上尾ロータリークラブ

2023-2024年度R.I.テーマ

世界に希望を生み出そう

第2997回 例会

2024. 1. 11

会長あいさつ



2023-2024年度 長沼 大策会長

週報 No.2244

発行 2024年 1月 18日

2023-2024年度
 会長 長沼 大策
 幹事 坂本 忠光
 副会長 門崎 由幸
 副幹事 小田切宏治
 編集責任者・公共イメージ向上委員会
 委員長 尾花 正明

ゲスト
 埼玉県教育局市町村支援部
 文化資源課 指定文化財担当
 主幹 内田 幸彦様

行事予定

- 1月25日 氷川神社様へ初詣
新年例会(四川飯店)
- 2月 1日 <第3,000回例会>
卓話 日本薬科大学
学長 都築 稔様
- 2月10日 インターシティ
ミーティング(桶川)
- 2月15日 卓話 関口和夫会員
- 2月22日 定款の規定により休会
- 2月29日 卓話 五郎丸典正様
「ハラスメント対策」

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
 2024年第一回目の例会になります。あけましておめでとうございませうと云ったのは元日の午後までで、夕方4時10分に、マグニチュード7.6、最大震度7の大きな地震が起りお正月ムードが二重になりました。令和6年能登半島地震がおきて10日が過ぎ、本日までで200名を超える方がお亡くなりになっています。亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。被害の大きさは甚大で、ニュース等で皆さんもご承知と思います。輪島市、珠洲市などでことさら被害は大きく、当クラブに卓話に来たこともある七尾市の和倉温泉・加賀屋さんも再開のめどがたらず当面の間、休館となっていて、温泉街・観光施設をはじめ各産業・経済界でも大きな損失が広がっています。被災された方へお見舞いを申し上げ、私たちもちろん支援を行わせていただきます。支援が速いと感じたのは各地の青年会議所さんでしょうか。ロータリーで速かったのは大宮のローターアクトさんでいち早く募金を始めていました。この後、理事会で義捐金等、支援について話しあわせていただきます。

さて新年になり、下期の予定を少しご連絡させていただきます。
 ◇1月25日、四川飯店での新年例会ですが、予定どおりに開催したいと思っております。
 ◇2月1日、第3,000回記念例会はオープン例会とし、日本薬科大学の都築稔学長に卓話を披露させていただきます。
 ◇2月10日には桶川でIMが開催されます。3月19日にはIMゴルフも予定されています。
 ◇4月～5月頃、親睦旅行を予定しています。行先は東日本震災から10年以上たっても復興がままならない東北地方を予定しています。
 ◇建城400年の節目である台湾、姉妹クラブ、台南東北RCさんへも訪問しなければならぬと思ひ、初夏あたりに訪ねようと思っておりましたが、一拍おいて創立32周年記念式典が開催されるであろう12月頃、門崎年度で訪問したいと考えています。
 ◇全国ロータリークラブ野球大会(甲子園)について今年は練習とさせていただきます、費用の積み立ても行って、門崎年度の後半、2025年の



夏に甲子園を目指したいと思ひます。
 話を交えて会員についてです。12月末で最年長だった井上清会員が高齢を理由に退会されました。1月1日現在、33名になった当クラブ会員数ですが、暮れに新会員推薦伺いをさせていただいたとおり新たに2名の会員が今後入会しますので会員数は35名になります。来週以降、入会式を行いたいと思ひます。

それと近況ですが、1月8日に、スポーツ少年団のバレーボール冬季大会 上尾ロータリークラブ杯が鴨川小学校体育館で開催されました。上尾クラブ、あずまJVC、近隣の大成ジュニアバレーボールクラブの3チームによる熱戦が繰り広げられ、上尾クラブが優勝しました。
 順不同でまとまらないあいさつとなりましたが、本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

幹事報告

坂本 忠光 幹事

- ◇1月のロータリーレートは1ドル=141円です。
- ◇会費納入のお願いを皆様にお配りしています。
- ◇RLI PartⅢが1月27日(土)に開催され、門崎副会長が出席の予定です。
- ◇地区会員増強維持部門から「ワイン同好会のお誘ひ」が届いています。3月1日開催予定。詳細は幹事までお問い合わせください。



例会主題

地域の文化財を守り、活かす

埼玉県教育局市町村支援部 文化資源課 指定文化財担当 主幹 内田幸彦様

本日は県政出前講座ということでお伺ひさせていただきました。文化資源課の仕事では、文化活動に関すること、埼玉県芸術文化祭に関すること、文化財の指定及び解除に関すること、文化財の調査・保存・管理及び活用に関すること、文化財保護と開発事業との調整に関すること、美術的銃砲刀剣類の審査及び登録に関すること、博物館に関すること、博物館との連携事業における学校への指導に関する



ことを行っています。本日は「地域の文化財を守り、活かす」というテーマで短い時間ではありますがお話をさせていただきます。

まずは日本の文化財6類型を紹介します。日本の文化財は、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型があります。埼玉県内の代表的な事例を紹介すると、有形文化財では歓喜院聖天堂(熊谷市)、武蔵埼玉稲荷山古墳群出土遺物(行田市)があります。無形文化財は細川紙(小川町・東秩父村)。民俗文化財は上尾の摘田・畑作用具(上尾市)、秩父祭の屋台行事と神楽(秩父市)。記念物では埼玉古墳群(行田市)、長瀨(長瀨町・皆野町)、宝蔵寺沼ムジナモ自生地(羽生市)。文化的景観は県内では指定がなく、伝統的建造物群は川越市川越伝統的建造物群保存地区(川越市)があります。

ここから文化財の種類と価値基準についてご紹介させていただきます。有形文化財と無形文化財の価値基準は、歴史または芸術上価値の高いものです。民俗文化財の価値基準は、国民の生活の推移の理解に欠くことのできないもの。史跡・名勝・天然記念物の価値基準は、(Ⅱ)歴史または学術上価値の高いもの、(Ⅲ)芸術または鑑賞上価値の高いもの、(Ⅳ)学術上価値の高いものになります。文化的景観の価値基準は、国民の生活または生業の理解のため欠くことのできないものです。伝統的建造物群は基準があてられないものなのですが、価値基準は、価値の高いものとなっています。6類型以外の文化財には、埋蔵文化財と文化財保存技術もあります。

いま申し上げたところまでが日本の文化財の大枠です。本日はせっかく上尾市さんにお招きいただいたので、上尾市の国・県指定等文化財を紹介したいと思います。国指定の重要有形民俗文化財は「上尾の摘田・畑作用具」1件です。県指定は5件あり、①永楽通宝紋鞍(県指定有形文化財 工芸品)、②殿山遺跡出土旧石器(県指定有形文化財 考古資料)、③平方祇園祭のどろいんきょ行事(県指定・県選出無形民俗文化財)、④馬蹄時のモクココ(県指定天然記念物)、⑤徳星寺の大カヤ及び暖帯林(県指定天然記念物)です。

永楽通宝紋鞍 付 鏡(あぶみ)一双は、原市の妙厳寺が所有。黒漆塗りで前輪と後輪に永楽通宝紋の蒔絵があるのが特徴で、居木に永正2年(1505年)の年紀と花押が刻印されています。家譜によれば織



田信長から鞍を拝領したと『新編武蔵風土記稿』に記載されています。

殿山遺跡出土旧石器は上尾市(上尾市教育委員会)が所有・管理しています。上尾市大字畔吉の遺跡から発掘されたもので、関東地方で初めて国府型ナイフ形石器が黒曜石製のナイフ形石器と同じ地層から出土したことに価値があります。

天然記念物の馬蹄時のモクココは枝ぶりに特徴があります。樹高8.2m、幹周り2.1mに達する盆栽のような美しい姿の大木だということで指定され、現在の樹高は12.5m、幹周りは2.6mに成長しています(平成22年時点)。

徳星寺の大カヤ及び暖帯林は、カヤの巨木と、シラカシ・スダジイ・ヤブツバキ・ヒサカキ等からなる暖帯林として天然記念物に指定されました。

ここからは令和3年に上尾市唯一の国指定文化財となった「上尾の摘田・畑作用具」についてご説明します。上尾市がお持ちで、現在は大石南小の文化財資料室に保管されています。点数は750点あり、内訳は摘田用具405点、畑作用具345点あります。生産・生業に用いるもの、地域的特色を示すものとして指定されました。概要は、日本の稲作は田植えを行う植田が一般的に知られていますが、かつては水稲の直播き栽培も広く行われていて、関東地方では摘田と呼ばれ、大宮台地とその周辺地域に集中的にみられました。摘田は、明治以後の水田開発や農業技術の進歩によって消滅しましたが、遅くまで摘田を続けていた上尾市域では、摘田用具の残存度が高く、農業の基盤であった畑作の用具とともに収集され、体系的に整理されています。関東平野における台地上での農業経営や畑作地域における稲作の地域的な様相を知ることができる資料群であり、我が国の稲作栽培や農耕文化の変遷を理解する上で重要という理由から、国の重要有形民俗文化財に指定されました。つい最近、1月7日には「全国初!『摘田』の常設展示 ジオラマや体験で知る「昔の上尾」重文指定された畑作用具なども」という見出しで埼玉新聞に記事が掲載されました。

<以下引用>
 埼玉県上尾市の国重要有形民俗文化財「上尾の摘田(つみた)・畑作用具」が重文指定から3年を経て、ようやく常設で展示されることになった。昨年末に市自然学習館がリニューアルされ、専用のコーナーが完成した。季節ごとの摘田稲作の作業風景を

再現したジオラマを鑑賞したり、用具を実際に触って体験できるようになっている。訪れた人は「昔の人が使っていた道具を大切に保存することは素晴らしいこと。見られる機会ができて良かった」と話す。市によると摘田関連の常設展示は全国でも初めて。少しだけ余談ですが、こんな説を唱える研究者もあられま(現状では定説ではありません)。



上尾市自然学習館で展示されているジオラマ

あともう1つ、平方祇園祭のどろいんきょ行事を紹介。平成23年に県の無形民俗文化財に指定されました。概要ですが、荒川舟運の河岸場として栄えた上尾市平方の八枝神社で7月下旬の土・日曜日に行われる祇園祭の一部です。大正12年(1923年)までは平方の上宿・下宿・南・新田の4地区合同で実施され、一時中断後、昭和50年(1975年)のみで復活しました(祇園祭そのものは現在も4地区での復活)。どろいんきょは個人宅に設けられる数か所の神所で行われます。あらかじめ庭に水を撒いておき、泥の上で若い衆がいんきょ神輿を転がして泥まみれにします。いんきょ神輿を山車に見立ててその上で踊りを踊ったりもします。どろいんきょ行事の評価は、他に比類を見ない行事内容をもって地域に定着していること、行事の担い手の年齢層は幅広く復活以降30年以上が経過し安定して継承されていること、地域的な特色を持った祇園祭として夏祭りの民俗的要素やその変遷を考える上で貴重であることが挙げられます。

おわりに、近年、少子高齢化・過疎化等、社会状

況が変化の中で、文化財を確実に継承していくために文化財保護法が改正されました。そこでは、文化財をまちづくりに活かしつつ、文化財継承の担い手を確保して、地域社会総がかりで取り組んでいく体制づくりを計画的に進めることが目指されています。まずは身近な文化財について、その存在を知っていただき、公開の機会に直接ご覧いただき、その価値を実感していただければ幸いです。ご清聴いただき、ありがとうございます。



スマイル 新年あけましておめでとうございます!

村岡会員 今朝、事務所荒らしにありました。

長沼会長/坂本幹事/門崎副会長/小田切副幹事/大家信郎会員/
 尾花会員/大木保司会員/大家崇行会員/齋藤博重会員/深澤会員/
 関口和夫会員/藤村会員/齋藤哲雄会員/樋口会員/宇多村会員/
 斎藤修弘会員/丹井会員/大木崇寛会員/関口良康会員/山崎会員/木田会員

出席率

会員数	33
出席免除者欠席	5
出席対象者	28
出席者数	22
78.57%	

令和5年度 上尾市スポーツ少年団 バレーボール冬季大会 上尾ロータリークラブ杯開催 2024.1.8 於:鴨川小学校体育館

市内の上尾クラブ、あずまJVC、近隣の大成ジュニアバレーボールクラブの3チームがエントリーし、ロータリークラブ杯を争奪すべく総当たりで熱戦を繰り広げました。試合ではファインプレーが随所で見られ、元気に楽しくプレイが展開されました。



例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
 例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

